



東実同窓会報

No.29

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会広報部
http://www.tojitsu-dosokai.com

就任 2 年目を迎えて

同窓会会員並びに学校教職員の皆様方におかれましては、平素より同窓会の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年度、会長就任 2 年目を迎えました。

就任 1 年目の昨年、同窓会活動を長期継続的に維持していくため、本誌前号(No. 28)に「寄付金募集について」と題する記事を掲載し、寄付金のご協力をお願い申し上げたところ、ご覧になられた方々から早速ご寄付をいただきました。

ご賛同くださいました方々にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

一方、学校においては、「交換留学制度 50 周年」を迎えた記念すべき年で、6 月 12 日(月)に学校の小ホールで行われた「50 周年記念式典」にご招待いただき、出席いたしました。

また、7 月 1 日(土)にプラザ・アペアにて開催された「50 周年祝賀会」にもお招きいただき、本田顧問(前会長)、酒井副会長の 3 名で出席いたしました。

私自身、50 周年という半世紀の節目の年を会長として迎えられたことを光栄に思うと同時に母校の輝かしい歴史を大変誇らしく感じております。

プラザ・アペアでの祝賀会には、東実からホルダーへ交換留学した同窓生(会員)が多数出席さ



(平成 29 年(第 37 回)定期総会にて)

会 長 白田 佳彦 (第 42 期)

れていましたが、殆どの方が同窓会とは疎遠になっておられる方々でした。

折よく、6 月に開催された定期総会において、常任幹事に就任された名取正人氏(第 69 期)が交換留学生 OB として出席されておりましたので、今後学校の協力を得ながら、同氏に交換留学生 OB の方々にも、同窓会活動に積極的に参加していただくよう勧めてもらうことにしました。

今年も、360 余名の後輩達がそれぞれの進路に向けて巣立って行かれ、本会の第 93 期会員とされますが、くれぐれも健康にご留意され、益々活躍されますことを祈念申し上げるとともに、ぜひ同窓会行事に参加され、近況などをお知らせいただければ幸いです。

最後に、会員の皆様のますますのご健勝と今年が良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

平成 30 年 1 月 10 日



東京実業高校同窓会のホームページ

<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

2017年度を振り返って



理事長 上野 雅子

2017年も又、昨年同様、天災被害が、各地に広がり、生命を落としたり家を流されたりといった大きな被害となりました。

21世紀も17年が過ぎ、20世紀とは違った脅威に晒されることとなりました。2001年、ニューヨークで起こった同時多発テロは、人々の心の中に今でも強く残っている出来事ですが、その後も世界各地でテロ行為は続き、今では観光旅行も安心して行ける

所が少なくなっている感じがします。そんな世界情勢の中、日本を取り巻くアジア諸国の情勢も又、かんばしくない方向へとかじ取りがなされ、日本政府には慎重なかじ取りを行ってほしいと切に願っています。

さて、東実は、この一年どうだったかといいますが、まず大きなことは、この学校の特徴でもあるアメリカ・コロラド州ボルダー地区との交換留学制度が、創設50周年を迎え、丁度6月10日にボルダー地区から来日中の留学生達と共に、小ホールで記念式典を行いました。又7月1日には、祝賀会を催し、今まで留学生として渡米した卒業生達、先生方を招待し、楽しい会となりました。

当時は、アメリカとの交換留学制度を一私学が行っているのは、大変珍しく、今のような洋式の生活が一般的でない時代、日本の高校生達が、アメリカという大国で見聞きた体験は、多にその後の彼らの進路に大きく影響を与えたと、出席した当時の生徒達が、語ってくれたことが、とても印象に残っています。50年という年月は、第1期として渡米した生徒達も65歳以上となり、孫のいる世代となりました。ご自分の経験した貴重なことを、次の世代へと引き継ぎ、人種を越えた情で繋がって平和へと導いてくれることが、この制度の使命ではないかと感じられる祝賀会でした。私が係わっていた生徒達とも、何十年かぶりに再会でき、当時の懐かしい話に花を咲かせました。

同窓会の皆様には、日頃より生徒達への暖かいご支援や、交換留学生達が来日の時には、ホームステイや歓迎会など、大変お世話になっております。同窓会の活発な活動、繁栄が、本校の繁栄にも大きく係わっていることを思い、感謝の念でいっぱいです。今後も東京実業高校を暖かく見守っていただけますよう、お願い申し上げます。

(平成29年11月中旬に執筆していただきました。)



姉妹校交換留学生制度発足50周年とその経緯について



学校長 知念 義裕

2017年6月10日、アメリカから交換留学生8名とマイク・クラインコフ先生が来日。6月12日には上野雅子理事長、臼田同窓会会長、酒井副会長ご臨席のもと交換留学制度50周年記念式典(左下記念写真)を挙行致しました。また、25年ぶりに教育長が来校予定だったのですが、来日直前になり、突然の教育長交代というということで、代理としてサンドラ・リプリングー

副教育長が1週間ほど来校しました。本校の交流プログラムに交換生と共に参加をさせていただく中で、次の50年へ向けてより強い絆を結ぶことができたと感じました。以下、本校の誇る姉妹校交流の歩みを簡潔にご紹介致します。

1961年に日本レスリング協会が東京オリンピックの選手強化をめざして、高校生のアメリカ遠征を計画し、上野幸一校長が初代レスリング高校選抜チーム日本選手団団長として渡米しました。その際、日米高校生の文化交流としての姉妹校交流について各地で意見交換をしたところから本校の海外交流の歴史は出発しています。1963年にはコロラド州ボルダー市にあるボルダー高校と姉妹校交流についての文通(ペンパル交流)がスタート。校長、副校長等が相互訪問するなど理解が深まったようです。1965年に上野幸一校長が渡米し、ボルダー高校校長との間で生徒の短期交換留学を1967年より実施するという正式契約を締結しました。そして、1967年7月1日に第1回交換学生6名と引率の先生が本校に来校したのが交換留学生制度の始まりです。以来、50年間にわたり隔年ごとに相互の交換留学生と引率教諭の派遣が行われて来ました。アメリカ合衆国の独立が1776年、コロラド州は建国100周年を迎えた1876年に誕生していますので、言わばコロラド州141年の歴史の中で本校とボルダーとの交換留学生制度が半世紀にわたって継続しているわけですから、歴史の重みをつくづくと感じさせられます。1961年(昭和36年)といえは戦後わずか16年しか経っていない時代であり、当時この計画を立案し、進め、実現させた上野幸一校長先生のスケールの大きさを感じざるを得ません。しかし、その後、何もかもが順風満帆というわけではなかったのです。姉妹校側の経済状況の悪化もあり、1979年に上野幸一校長、井上稔副校長が渡米し、ボルダー地区教育委員会との間で新たな交流制度契約を結び、ボルダー地区全5校の公立高校(現在は6校)から交換生を募ることになりました。この契約に基づき新たに、S.E.P.(School Exchange Program Fund)基金を設立、何とでも日米高校生の相互理解、国際理解、平和教育であるこの交流を継続させたいという日米双方の思いが結実したものだと思います。以後、今日までこの交流はボルダーから26回、本校から25回にわたり留学生を派遣、順調に継続し、50周年を迎えた次第です。最後にこれまでの同窓会の絶大なるご支援に感謝申し上げます。

(平成30年1月下旬に執筆していただきました。)

学校の近況報告



副校長
小畑 雅一

平成 29 年度は、4 月に 385 名の新入生を迎え、全校生徒 1151 名でスタートしました。以下に、学校のトピックスを紹介します。

■「屋久島」への修学旅行

3 年生への進級が決まった 3 月中旬、2 年生は 3 泊 4 日の日程で鹿児島県への修学旅行へ向かいます。本校の修学旅行は、これまで北海道を周遊するコースで実施されるが多かったのを、もっと自然に触れる機会を増やしたいという願いのもと、7 年前から行き先を鹿児島県屋久島へ変更しました。朝早く羽田空港へ集合した生徒たちは、空路鹿児島空港へ降り立ち、まずはバスで鹿児島県知覧町へ向かいます。皆さんもご存知の通り、知覧町には太平洋戦争当時特攻攻撃基地が設けられ、多くの若者がここから飛び立ち帰らぬ人となりました。その地に建つ「知覧特攻平和会館」で生徒たちは在りし日の悲惨な戦争を追体験し、今の平和について改めて考える機会を持ちます。その後、鹿児島本港南埠頭から高速船に乗船し、3 時間 30 分かけて屋久島へ向かいます。3 連泊する屋久島では、島内見学をはじめ、リバーカヌーや島染めの体験などを行い、3 日目には個々の希望と体力に合わせ、「縄文杉コース」、「白谷雲水峡コース」、「ヤクスギランドコース」などに分かれトレッキングを実施します。一番行程のきつい縄文杉コースは、ホテルを 5 時 30 分にバスで出発、荒川登山口のスタート地点から往復約 20km、10 時間を超えるトレッキングで屋久島に自生する樹齢約 3000 年とも言われる最大級の屋久杉「縄文杉」を目指します。生徒たちは互いに励まし合いながら、きつい山道とドロドロ道を歩き、原始の自然を全身で感じ、普段の生活ではなかなか行くことのない屋久島から、高校生活の大切な思い出を持ち帰ります。



■部活動の報告

●硬式野球部

夏の選手権予選ではシード権を獲得し、満を持して都立紅葉川高校との初戦に臨みましたが、残念ながら 2 対 4 で惜敗しました。秋の大会ではブロックを勝ち抜き都大会に進出しましたが、強豪早稲田実業高校に敗退しました。今後も念願の甲子園出場に向け、皆様の応援をお願い致します。

●陸上競技部

11 月 3 日に荒川河川敷コースで実施された全国高校駅伝競走大会東京都予選会において、男子は 5 位（記録 2 時間 14 分 08 秒）、女子は 4 位（記録 1 時間 14 分 42 秒）入賞を果たし、初めて 11 月 18 日に山梨県にて開催された関東大会へのアベック出場を果たしました。

特に女子は昨年 13 位（記録 1 時間 19 分 05 秒）からの大躍進で、男女ともに来年以降の更なる活躍を期待したいと思います。

●男子サッカー部

東京 T2 リーグでは 18 試合を戦い 8 勝 7 敗 3 分けの 4 位と奮闘し、全国選手権の東京都予選では実力を発揮し、都大会本選に進出しましたが、優勝した関東第一高校に 1 対 2 で惜敗し、念願の全国大会出場を逃しました。

また、昨年度発足した女子サッカー同好会は、新たに清水先生を監督に迎え、日々活動に取り組んでおり、男女共々サッカー部のこれからの躍進に期待したいと思います。

●マーチングバンド部

11 月に行われた関東大会で見事金賞を受賞し、12 月 17 日埼玉スーパーアリーナでの全国大会に駒を進めました。全国大会では小編成の部で金賞を獲得し、マーチングバンド部の伝統の力を示すことが出来ました。

●レスリング部

今年新たに 6 名の部員を迎え、現在 7 名の部員で活動しています。夏には 3 年生の赤枝亮祐君が全国高校生グレコローマン選手権大会に出場し、120kg 級でベスト 16 に、秋には東京都代表として 5 名の選手が関東選抜大会に進出しました。

全国大会団体 4 連覇など栄光の伝統を持つレスリング部の今後の活躍を期待したいと思います。

■教職員の永年勤続表彰及び異動（敬称略）

●永年勤続者

勤続 30 年： 村上 信人(工業)

勤続 20 年： 宮田 宏輔(国語)

勤続 10 年： 片山 智裕(社会) 工藤 勝則(用務)

●教職員の異動

退職教職員： 原田 忠彦(商業) 工藤 勝則(用務)

● 機械科 ●



機械科科長
村山 隆

平成29年度、機械科は新入生101名を迎えました。今年度の機械科の在籍数は、11月1日現在の299名で、内訳は1年生97名(3クラス)、2年生118名(3クラス)、3年生84名(2クラス)となります。

4月から工業科専任講師として、機械科に砂本眞先生(80期)が新たに加わり、機械科2年生の担任、また、実習では、3年生のNC旋盤とロボドリル(マシニングセンター)、アームロボットの授業を行っています。

各学年のクラス担任は、次の各先生です。

1年生	A組	村山 隆	(機械)
	B組	関根 勝	(数学)
	C組	森 昌芳	(体育)
2年生	A組	片山 智裕	(社会)
	B組	砂本 眞	(機械)
	C組	村上 信人	(機械)
3年生	A組	藤田 稔	(機械)
	B組	小林 正文	(社会)

資格取得も従来通りです。

- 1学期 移動式クレーン運転、玉掛け作業特別教育、車両系建設機械運転特別教育
- 2学期 ガス溶接技能講習、フォークリフト運転特別教育
- 3学期 高所作業車運転特別教育
1年生全員、アーク溶接特別教育

「第二種電気工事士」に9名が合格するなど積極的に取り組んでいます。

今後ともよろしくお願い致します。



NC旋盤

【機械科実習室の設備】

ロボドリル

● 電気科 ●



電気科科長
深川 剛

今年度の電気科は、電気コース60名(男子のみ)、ゲームITコース19名(男子15名、女子4名)の計79名を新入生として迎えることが出来ました。

11月1日現在、電気コース187名、ゲームITコース86名の合計273名の在籍数となり、クラス数も例年同様、各学年電気コース2クラス、ゲームITコース1クラスの計9クラス体制となっております。

毎年同窓会報で報告しております、「第二種電気工事士」の合格者ですが、今年度は38名の生徒が実技試験にチャレンジしました。今回より、実技試験の採点基準が1カ所でも軽微な欠陥があった場合「不合格」(昨年まで2カ所までの軽微な欠陥は合格でした)と大変厳しくなり、最後まで不安な状況でしたが、見事33名(電気科24名、機械科9名)の生徒が合格を果たしてくれました。実技試験合格率は、86.8%となっております。

「第一種電気工事士」も10月に行われた筆記試験に8名(電気科4名、機械科4名)が合格し、12月上旬に行われた実技試験の結果、6名(電気科2名、機械科4名)が見事合格しました。

電気工事士以外の資格では、ゲームITコース3年の松田君が1年次より数々の資格を取得し、さらに情報系国家資格である「基本情報技術者試験」に合格(本校二人目の合格者)し、全国工業高等学校長協会が実施している顕彰制度「ジュニアマイスター」の最上位である「特別表彰」を受賞(こちらも本校で二人目)することとなりました。

来年度も多くの嬉しい報告が出来ますよう、電気科一同精進して参る所存でございます。今後とも先輩諸氏のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



平成29年度 第二種電気工事士試験合格者

普通科 ビジネスコース



ビジネスコース科長
湯尻 英明

11 月 1 日現在、普通科ビジネスコースには 423 名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験（簿記・情報処理・ビジネス文書・社会人常識マナーなど）に挑戦することで個人の能力を向上させています。

ビジネスコースでは、学校行事にも積極的にに関わり、11 月の東実祭では各種競技会を開催しています。

今年度は、次の生徒が優勝しました。

学年	珠算部門	簿記部門	ワープロ部門
1 年	利田 乃ノ葉	小山 日奈	川内 大空
2 年	原田 航太	鈴木 亮平	平田 画夢野
3 年	中村 綾花	舘石 拓弥	松林 直人

また、今年度も「第 7 回ビジネスフェスタ」を開催し、販売実習・店舗運営を経験し、普段学んだ知識、技術の実践の場としました。この出店には東日本大震災の被災地である東北 3 県と熊本県をクラスごとに担当し、復興支援の一役を担えるように物産品を調べ、販売につなげています。特に 3 年生は仕入・装飾・販売・マーケティング等を考え、1、2 年生はマナーや接客、ポスター制作も行い、東実祭期間の 2 日間でどれだけお客様を引き付けられるか、貴重な経験を積めたと思います。この経験が将来の進路決定の材料につながることを望んでいます。



東実祭にて実施した「各種競技会」の様子です。

普通科 文理コース



文理コース科長
関根 章道

昭和 51 年に設置された普通科は、平成 13 年より普通科文理コースと名称を変更したものの、設置当時から変わらず「4 年制大学進学」を目標とし、今年度で 42 年目を迎えました。

世間での大学進学に対する意義は、時代とともに変容しておりますが、その必要性は変わりません。特に、高校生の二人に一人以上が大学に進学する現代において、本校における文理コースの存在意義はますます高まっています。

さて、文理コースでは、次の三点を重点とし、指導しています。

- (1) 基礎学力の定着。
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開。
- (3) 大学進学に向けた実力の向上。

(1)については、毎週月曜日の 1 時間目に到達確認テストを 1 学年で実施しています。国語・数学・英語の一週間分の授業の定着度を確認し、合格点に達しているかどうかを把握しています。さらに今年度からは、Benesse社の Classi というシステムを使い、自身で出来なかったポイントをウェブ動画で確認させています。

(2)については、特に数学で習熟度別授業を展開し、生徒のレベルに合った授業で、理解度を高めるようにしています。また、希望制で、オンラインで予備校の講義を聞き、問題演習をしていく「スタディサブリ」なども導入し、学力の向上を図っています。

(3)では、城南予備校から講師を派遣してもらい、1・2 年生の希望者を対象に土曜講座を実施しています。年間 20 回の土曜日が土曜講座となります。土曜講座のない土曜日には、Benesse の模試と英検の受験日となりますので、土曜講座を受講している生徒は、学校 6 日制という意識で学習しています。内容は、英語と数学に特化しました。さらに今年度は、土曜講座を実力診断テスト等、ベネッセ模試での GTZ（学習到達ゾーン）の向上のためと位置付け、通常の授業に加え、模試の振り返り授業も設定しました。

文理コースには、11 月 1 日現在 3 学年合わせて 145 名の生徒が在籍しています。12 月の「文理コース集会」では、知念校長先生による講話、検定取得などの奨励賞授与、そしてセンター・一般入試に挑む 3 年生への壮行会が行われました。

今後も文理コースは、時代の変容に身をゆだねつつ、伝統を継承してまいります。



東京実業高校のホームページ
<http://www.tojitsu.ed.jp/>

随時更新して学校の最新情報を紹介しておりますので、是非ご覧になってください。

部活動

簿記部



簿記部
田口 結香

普通科ビジネスコースでは、「会計」、「情報」、「経済」の3分野について学びます。その中で、1年次に学ぶ「簿記」は時間割の中でも週4時間の授業時間を占めます。生徒達は、2月実施の全国経理教育協会主催の簿記能力検定3級取得のために日々、勉強をしています。

現在簿記部では、ビジネスコース1年生4名、2年生9名で活動をしています。1年生においては授業の予習・復習・応用問題などを行い、2年生においてはそれに加え、日本商工会議所主催の簿記検定3級受験者や、将来、経理の仕事がしたいという思いから簿記をもっと深く学びたいという生徒も在籍しています。今年度は在籍していませんが他科の生徒も簿記部に在籍することもあります。

このように、簿記部では、各々の目的に合わせて勉強し、努力している生徒が在籍しているので、生徒達とその日の勉強が終わった後には、それぞれの目標や目的、現在の授業で理解が難しいところなど話し合いの場を設け、各々が次にどんな内容を勉強するのかを決め、次に繋げるようにしています。

また、文化祭では普通科ビジネスコース主催の校内簿記競技会が毎年開催されます。この競技会では、各クラス代表3名が学年ごとに簿記の問題を解き点数を競います。その際、部員は、競技会前に出場者の名簿作成や、解答用紙の作成なども行います。また、競技会当日には、問題用紙、解答用紙の配布・回収に加え、注意事項の読み上げや試験監督、さらには採点までも生徒が主導で行います。歴史ある、簿記競技会を通し、簿記の理解を深めてもらえるようにこれからも簿記部は活動していきたいと思います。



簿記部のメンバー

生徒会



生徒会会長
菅野 水月

今年度の生徒会執行部は、1年生9名、2年生3名の計12名で活動しています。

昨年や一昨年に比べると人数は多いのですが、中心となる2年生が少ないうえに、1年以上活動している者が1人だけなので、昨年以上の成果を出すのはとても難しかったです。しかし、やり遂げた時の達成感はとても大きかったと思います。

1年間の活動を振り返ると、まず4月に行われた新入生歓迎会での企画・運営は、昨年度の生徒会執行部の先輩方と協力して行いました。新入生の皆様を温かく歓迎し、部活動紹介や行事、委員会の説明を中心に新入生が学校生活を楽しく始められるように企画しました。

6月には生徒会役員選挙が行われました。そこで新しい三役が選ばれ、私たち新役員12名が活動していくことになりました。私は生徒会長になりましたので、一層身を引き締め、全員をまとめられるように努力しようと決意しました。

同月にはもう一つ生徒総会が行われました。この生徒総会では、3年生の先輩方から2年生の私たちに引き継がれて初めての行事でしたので、わからないことも多くありましたが、役員全員で協力し、1年間の生徒会活動案と要望案を承認していただきました。

9月には、先生と生徒の懇談会を開催しました。生徒総会で承認された要望案を先生方と検討し、学校をより良くしていくことなどを協議致しました。

10月には、本校の二大行事の一つである体育祭が行われました。役員数が少ないため準備や司会進行、運営の難しさを知りました。

そして11月には、本校のもう一つの行事、東実祭が開催されました。昨年、一昨年は大成功を収めたので、今年は早い時期から東実祭実行委員会の方々と協力し、入場者数も昨年を大きく上回りなんとか成功に収めることが出来ました。

これからも我々生徒会執行部は、今まで以上に全力を尽くして活動して行きますので、ご支援の程、宜しくお願い致します。

平成29年11月24日



生徒会誌「蒲公英」、「together」の発行も行っています。

寄付金募集について (前号に続き掲載)

●趣 意

拝啓 皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本会の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本会は同窓会 (昼間部・昭和 3 年 3 月結成) と蛍窓会 (夜間部・昭和 4 年 3 月結成) 及び五葉会 (専門学校・昭和 36 年 2 月結成) の 3 つの会を昭和 58 年 12 月統合し、現在の「東京実業高校同窓会」に改称して 35 年目を迎えます。

主な事業として、定期総会・懇親会、懇親旅行及び新年会等の行事開催、会報誌の発行、学校記念行事の協賛などの活動を行っており、事業の運営費は、会員の皆様が在学中に納めていただいた終身会費 1 万円及び行事参加費等で運営しております。

発足以来、母校の部活応援賛助金や周年特別事業協賛金などの募集を除いて、ご寄付のお願いは一切行っていませんでした。

しかしながら、少子化等の影響もあり母校の生徒数は年々減少傾向にあり、それに伴って会費収入も減少し、本会の事業活動が困難になることが懸念されるため、下記寄付金募集要項に基づいて寄付金を募って運営資金に充当することにいたしました。

本趣意をご高察のうえ厳しい経済環境のなか恐縮とは存じますが、ご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

敬具

●寄付金募集要項

1. 寄付金対象者	○正会員 (卒業生) ○特別会員 (現・元教職員) ○卒業生及び在校生に関わりがある者、または関わりがある法人企業。
2. 募集期間	募集期間の定めはなく継続的に募集活動を行ってまいります。
3. 寄付金	○個人：1 口につき 1 千円より、 ○法人：1 口につき 5 千円より、 ただし、金額の多寡にかかわらず、有り難く受け賜わります。 なお、この寄付金は任意であり税制上の優遇措置はありません。
4. 申込方法	個人としてご寄付いただく場合は、同窓会名簿にて本人確認をさせていただくため、お振込みの際は、名前の前に英字の D (ディー) と卒業年 (数字 2 桁) を付記していただくようお願いいたします。 例) D46 東実 太郎 なお、卒業年が不明の方は事務局にお問合せください。法人・企業様等につきましては、事務局までご連絡ください。寄付の手続についてご案内させていただきます。
5. 振込先	○銀 行：みずほ銀行・蒲田支店 ○口 座：普通預金 0613114 ○口座名：東京実業高等学校同窓会 白田 佳彦 (ウサガ カズヒコ)
6. 領収書発行	原則として金融機関への振込依頼書・払込受領書をもって領収書に代えさせていただきますが、お申し出いただければ領収書を発行いたします。
7. お問い合わせ先	ご不明な点などがございましたら、事務局担当 (080-1186-8945・ヨネクラ) までお問い合わせください。
8. その他	ご寄付いただいた寄付金の総額及び延べ人数は、定期総会にて報告いたします。

平成 30 年 2 月 1 日

東京実業高校同窓会
会 長 白田 佳彦

本会報誌について

本会報誌は、発行年度の卒業生には直接配付し、卒業されてから 3 年までの会員、同窓会役員、行事出席者、寄稿者及び広告掲載企業様などに 4 月下旬に送付しております。

また、定期総会や新年会開催の際に受付にて希望される方に配付しております。

在庫部数に限りがありますが、クラス会・同期会等の開催の際に必要な方は、事務局にご連絡頂ければ差し上げますので、ご遠慮なくお申し込みください。

☑本誌の閲覧

本誌のバックナンバー (創刊号～本号) は、同窓会ホームページで閲覧できますので、是非ご覧になってください。

☑広告主募集

広告掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金 (消費税込み) は、縦 49mm×横 81mm サイズは 5,000 円、1/2 サイズは 2,500 円です。各号の締切日は、毎年 12 月中旬となっておりますので、事務局に電話またはメールでお申し込みください。

☑写真及び随筆の募集

本会報誌、創立 100 周年記念号の出版にあたり、会員の皆様方からの在校時代の思い出の写真や随筆文を募集しております。

ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら事務局まで、お申し出くださいますようお願い申し上げます。(広報部)

平成 30 年(第 38 回)定期総会
開催のお知らせ

平成 30 年(第 38 回)の定期総会を下記の要領で開催いたします。

記

日時：平成 30 年 6 月 2 日 (土)
15 時 00 分～18 時 00 分

場所：プラザ・アペア (蒲田駅南口)
会費：3,000 円 (懇親会参加者のみ)

総会終了後に懇親会を開催いたします。

なお、卒業後 3 年以内《平成 28 年 3 月卒業 (第 91 期)～平成 30 年 3 月卒業 (第 93 期)》の会員は、懇親会の参加費は無料となっております。

同期会を兼ねての参加も歓迎しますので、各期卒業のクラス幹事の方々、クラスメートの皆さんをお誘いし、是非ご参加ください。

(総務部)

定期総会報告

第2号議案 平成28年度収支決算報告

平成28年度 収支決算報告書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	3,574,263	3,574,263	事務消耗品費	340,000	189,991
入会金	3,690,000	3,680,000	通信連絡費	100,000	121,765
寄付金	10,000	10,000	ホームページ管理費	170,000	165,650
広告費	35,000	69,676	印刷費	20,000	62,208
総会会費	200,000	186,000	会議費	280,000	540,952
旅行会費	500,000	390,000	総会助成費	250,000	285,387
新年会会費	400,000	297,000	総会会費	300,000	276,000
東実祭	180,000	205,000	旅行助成費	100,000	48,766
受取利息	1,500	16	旅行会費	500,000	390,000
雑収入	250,000	280,300	新年会助成費	200,000	300,465
総会	100,000	90,000	新年会費	550,000	477,300
旅行	0	0	東実祭助成費	180,000	1,595
新年会	150,000	180,000	東実祭費	180,000	205,200
慰労会	0	10,000	会報発行費	480,000	579,790
会議会費	0	212,000	慶弔費	290,000	442,400
慰労会	0	144,000	卒業記念品費	350,000	346,712
拡大幹事会	0	68,000	積立金	300,000	150,000
			交通費	20,000	15,000
			予備費	160,000	100,000
			雑費	330	324
			奨学金	500,000	500,000
			次年度繰越金	3,570,433	3,704,950
			普通預金	3,570,433	3,681,919
			現金	0	23,031
収入合計	8,840,763	8,904,455	支出合計	8,840,763	8,904,455

積立金等次年度繰越金内訳 (別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	14,870,529	150,000	2,293	15,022,822	定期預金
定期預金(東京三菱UFJ)	10,115,111	0	2,147	10,117,258	定期預金
合計	24,985,640	150,000	4,440	25,140,080	

平成29年(第37回) 定期総会次第

開会

1. 物故者への黙祷
2. 挨拶
(1) 会長
(2) 名誉会長(学校長)
3. 議長選出
4. 議事録署名人選出
5. 議事
第1号議案 平成28年度 事業報告の件
第2号議案
(1) 平成28年度 収支決算報告の件
(2) 平成28年度 監査報告の件
第3号議案 平成29年度 事業計画(案)の件
第4号議案 平成29年度 収支予算(案)の件
第5号議案 異動に伴う役員改選(案)の件
6. 改選役員紹介
7. 第92期(平成29年3月卒業)幹事紹介
8. 平成28年度東実スカラシップ認定式
(1) 認定証授与
(2) お礼の言葉

閉会

懇親会次第

開会

1. 挨拶
(1) 会長
(2) 学校法人上野塾理事長
(3) 顧問
2. 来賓祝辞
3. 教職員紹介
4. 学校近況報告・乾杯
5. 懇談
6. 校歌斉唱
7. 閉会の挨拶

第3号議案 平成29年度事業計画

《既に実施・開催された事業については、報告とさせていただきます。》

■総務部 《定期総会及び庶務一般に関する事業》

1. 平成29年(第37回)定期総会並びに懇親会の開催

①定期総会

- ・日時：平成29年6月3日(土) 午後3時～
- ・場所：プラザ・アペア

②懇親会

- ・定期総会終了後、隣接会場にて開催
- ・参加費：3,000円
(卒業後3年以内の会員は招待とし、無料とする)

2. 拡大幹事会の開催

- ・日時：平成29年11月24日(金) 午後6時開会
- ・場所：プラザ・アペア
- ・会費：3,000円

3. 庶務一般関係

①会員の名簿の整理及び作成

②各期同窓生に対し、同窓会事業の参加促進活動

③卒業記念アルバムの管理

④その他(常任幹事会等の開催、新幹事との懇親会の開催、学校行事への出席)

■事業部 《年間行事等に関する事業》

1. 第34回懇親旅行の実施

- ・日時：平成29年9月30日(土)～10月1日(日)
- ・場所：ホテルマホロバマイズ三浦
- ・会費：16,000円～17,000円(予定)

2. 東実祭への参加

- ・日時：平成29年11月11日(土)・12日(日)
- ・催し：同窓会の部屋の設営、校章入りドラ焼き及び綿菓子販売など

3. 平成30年 新年会の開催

- ・日時：平成30年1月27日(土)午後5時30分～
- ・場所：崎陽軒本店
- ・会費：8,000円
(卒業後3年以内の会員は招待とし、無料とする)

4. 特別に開催される事業等

■広報部 《会報誌の発行、ホームページの運用管理及び広報活動等に関する事業》

1. 会報誌関係

- ① 会報第29号(平成30年3月1日発行)の編集及び出版
- ② 会報誌の頒布(配付・送付)

2. ホームページ関係

- ① 随時更新及び運用管理
- ② 年間行事等の情報提供及び参加者の募集
- ③ 会員からの各種変更届等の対応

3. 広報活動

- ① 会報誌の広告掲載企業の募集
- ② ホームページのバナー広告企業の募集

■会計部 《予算・決算及び寄付・賛助金等に関する事業》

1. 予算・決算関係

- ① 現預金の出納業務
- ② 当該年度の予算管理及び収支決算書の作成
- ③ 次年度予算の集計及び予算書の作成

2. 寄付・協賛・贈呈関係

- ① 第93期卒業生への卒業記念品贈呈
- ② スカラシップ(奨学金)への寄付
- ③ 部活へのお祝い金贈呈(全国大会出場等の活躍)
- ④ 常任幹事会で承認可決されたお祝金・寄付金等



総会・会長挨拶



総会・出席者



総会・スカラシップ認定証の授与



懇親会・乾杯



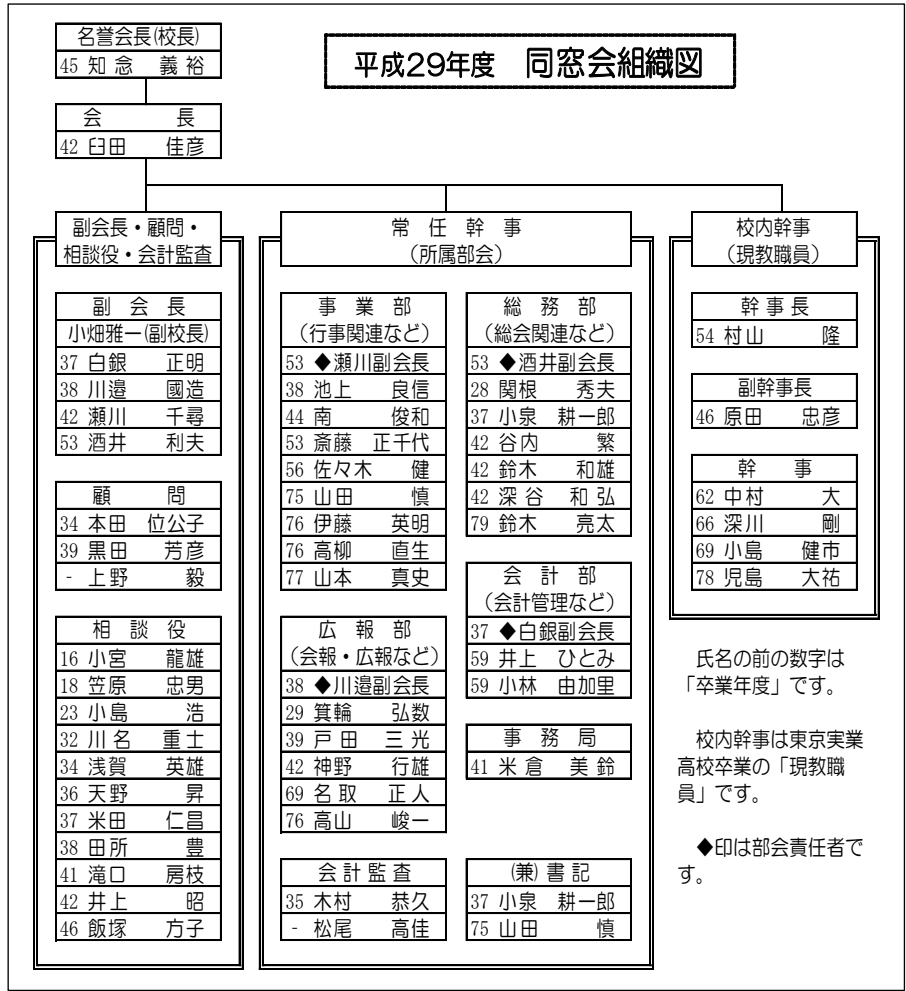
懇親会・立食料理



懇親会・第 26、29 期同期会出席者



懇親会・校歌斉唱



■定期総会 平成 29 年(第 37 回)定期総会は、平成 29 年 6 月 3 日(土)15 時より、プラザ・アペアにて開催されました。議事に先立ち、当該年度に永眠された方々への黙祷が捧げられ、臼田佳彦会長、知念義裕名誉会長(校長)の挨拶の後、会長が議長となり、平成 28 年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告、平成 29 年度事業計画(案)及び収支予算(案)、異動に伴う役員改選(案)の 5 つの議案が議場に諮られ、いずれも全会一致で可決承認されました。

役員改選では、瀬戸盛義(第 42 期・常任幹事退任=辞任届出)、村松濱代(第 17 期・顧問退任=逝去)、名取正人(第 69 期・常任幹事就任=推薦)の 3 名が改選となりましたが、当該年度は非改選期のため他の役員は重任となり、改選後の役員構成は、上図の「平成 29 年度同窓会組織図」の通りです。

なお、議事終了後、2 年生(現 3 年生)のスカラシップの認定授与式が行われ、学業奨学生 5 名、資格・技能奨学生(ゴールド、シルバー、ブロンズ) 33 名の生徒に知念義裕校長より認定証が授与され、各賞の代表からお礼の言葉があり、全ての式次第が終了し、16 時 10 分に閉会となりました。

■懇親会 総会後の 16 時 20 分より、総勢 74 名の出席のもとに懇親会が盛大に開催されました。

臼田佳彦会長、学校法人上野塾上野雅子理事長、本田位公子顧問の挨拶の後、来賓の東京高校同窓会柴田夏男会長様よりご祝辞をいただき、次いで、村山隆校内幹事長(教諭)より出席教職員の紹介をいただいた後、小畑雅一副会長(副校長)に学校の近況報告と乾杯の音頭をとっていただき、懇親会に入りました。

出席者の最高齢は第 22 期(1947 年卒・88 歳)、最年少は第 92 期(2017 年 3 月卒)の年齢差 70 歳の OB・OG が交流するという同窓会ならではの楽しい時間を過ごす中、第 28 期の関根秀夫先輩(82 歳)の指揮により全員で校歌を斉唱し、最後に昨年で常任幹事を退任された第 30 期の渡邊正信先輩(81 歳)による本会恒例となった「変形五本締め?」で 18 時 15 分に閉会となりました。

この懇親会には、第 26 期(1951 年卒業)と第 29 期(1954 年卒業)の会員の方々が同期会を兼ねて出席してくださいました。

平成 30 年(第 38 回)もプラザ・アペアで開催いたしますので、他の期の方々も同期会を兼ねて是非ご参加ください。(総務部)



同窓会旗

米田仁昌相談役(第37期・元職員)が、定年退職の記念としてご寄付してくださいました。



同窓会の歩み

(沿革・会報・定期総会・新年会・懇親旅行)

年	月	沿革	会報発行			定期総会		新年会		懇親旅行		
			月	号	頁	月	回	月	回	月	回	場所
S03(1928)	3	同窓会(昼間部)結成、初代会長 山田千太郎				11	1					
S04(1929)	3	蛍窓会(夜間部)結成、初代会長 常松管晴				7	2		1	1		蒲田太子苑
S36(1961)	2	五葉会(専門学校)結成、初代会長 後藤光明				7	3		1	2		蒲田満平
S45(1970)	11	村松濱代 第2代会長就任、同窓会会則変更				7	4		1	3		武蔵新田喜久美
S47(1972)	10	初版同窓会会員名簿発行				11	5		1	4		蒲田弘城
S55(1980)	9	初代会長山田千太郎 逝去				9	6		1	5		銀座ライオンスターホール
S56(1981)	11	同窓会総代会開催				11	8		1	6		銀座ライオンスターホール
S57(1982)	10	第2版同窓会名簿発行				11	7		1	7		銀座ライオンスターホール
	11	学校創立60周年記念式典				7	9		1	8		銀座サッポロスターホール
S58(1983)	12	同窓・蛍窓・五葉会の3会を統合し「東実同窓会」となる				7	10		1	9		銀座サッポロスターホール
S59(1984)						7	11		1	10		銀座サッポロスターホール
S60(1985)	11	同窓会旗誕生				11	12		1	11		蒲田ステーションホール
S61(1986)						9	13		1	12		川崎日航ホテル
S62(1987)	6	常松管晴 蛍窓会長逝去 第3版同窓会会員名簿発行				10	14		1	13		川崎駅ビルカメラアール
S63(1988)						11	15		1	14		川崎駅ビルカメラアール
H元(1989)						7	16		1	15		川崎駅ビルカメラアール
H02(1990)		「同窓会報」創刊	6	創刊	16	6	17		1	16		川崎駅ビルカメラアール
H03(1991)			2	2号	20	6	18		1	17		川崎駅ビルカメラアール
H04(1992)	6	渡邊和彦 第3代会長就任 学校創立70周年記念式典	2	3号	20	6	19		1	18		蒲田ア・アヘア
H05(1993)			2	4号	24	6	20		1	19		蒲田ア・アヘア
H06(1994)	6	黒田芳彦 第4代会長就任	2	5号	28	6	21		1	20		蒲田ア・アヘア
H07(1995)			2	6号	32	6	22		1	21		蒲田ア・アヘア
H08(1996)			2	7号	16	6	23		1	22		品川パンフィックホテル
H09(1997)			2	8号	16	6	24		1	23		品川パンフィックホテル
H10(1998)	6	山本徳太郎 第5代会長就任	2	9号	16	6	25		1	24		品川パンフィックホテル
H11(1999)			2	10号	20	6	26		1	25		品川パンフィックホテル
H12(2000)			3	11号	18	6	27		1	26		品川パンフィックホテル
H13(2001)			3	12号	20	6	28		1	27		品川パンフィックホテル
H14(2002)	11	学校創立80周年記念式典	3	13号	20	6	29		1	28		品川パンフィックホテル
H15(2003)			3	14号	20	6	30		1	29		品川パンフィックホテル
H16(2004)	6	本田位公子 第6代会長就任	3	15号	16	6	31		1	30		品川パンフィックホテル
H17(2005)			3	16号	16	6	32		1	31		品川パンフィックホテル
H18(2006)			3	17号	16	6	33		1	32		品川パンフィックホテル
H19(2007)			3	18号	16	6	34		1	33		品川パンフィックホテル
H20(2008)			3	19号	16	6	35		1	34		品川パンフィックホテル
H21(2009)	1	山本徳太郎 第5代会長逝去	3	20号	20	6	36		1	35		品川パンフィックホテル
H22(2010)			3	21号	16	6	37		1	36		品川パンフィックホテル
H23(2011)			3	22号	16	6	38		1	37		品川パンフィックホテル
H24(2012)	11	渡邊和彦 第3代会長逝去	3	23号	16	6	39		1	38		品川パンフィックホテル
H25(2013)			3	24号	16	6	40		1	39		品川パンフィックホテル
H26(2014)			3	25号	16	6	41		1	40		品川パンフィックホテル
H27(2015)	1	新校舎竣工記念式典(90周年記念)	3	26号	20	6	42		1	41		品川パンフィックホテル
H28(2016)	4	村松濱代 第2代会長逝去 臼田佳彦 第7代会長就任	3	27号	16	6	43		1	42		品川パンフィックホテル
H29(2017)			3	28号	16	6	44		1	43		品川パンフィックホテル
H30(2018)			3	29号	16	6	45		1	44		品川パンフィックホテル

主な行事報告

第 34 回 懇親旅行

第 34 回の懇親旅行は、平成 29 年 9 月 30 日（土）～10 月 1 日（日）にかけて、参加者 20 名のもとに都心から電車で 1 時間ほどの「ホテルマホロバマイズ三浦」を宿に 1 泊 2 日で実施しました。

現地に 15 時集合でしたので、皆さん電車やマイカーを利用し、仕事の都合で夜の宴会から出席の 1 名を除き、16 時ごろには殆どの方が揃いました。皆さん、久しぶりに再会する仲間と部屋で談笑したり、お風呂入り日頃の疲れを癒したりして、ゆっくりくつろいでいるうちに夜の宴会時間になりました。

宴会は 18 時から、臼田会長の挨拶の後、瀬川副会長の乾杯の音頭で開宴となり、和食懐石料理、飲み放題を満喫しながら、懇談とカラオケで大いに盛り上がる中、年長の箕輪常任幹事の締めで閉会となりました。



二次会はカラオケルームにムに移り、得意な歌を競い合うなど楽しく有意義な 1 日目となりました。

翌日は、朝食バイキングを食べた後、私用で 2 人は帰りましたが、みんな一緒にチェックアウトして、三浦市の産直品売り場「うらりマルシェ」に行き、買い物や海中散歩が楽しめる半潜水式の観光船「にじいろさかな号」に乗り、沢山の魚が泳ぎまわる様子を鑑賞したりして自由時間を楽しみ、予約しておいた近隣のレストランで昼食をとった後、解散となりました。（事業部）

二次会はカラオケルームにムに移り、得意な歌を競い合うなど楽しく有意義な 1 日目となりました。

新幹事懇親会

平成 29 年 12 月 8 日（金）11 時 15 分より、校内会議室に於いて、知念校長、小畑副校長、平成 29 年度（第 93 期）同窓会幹事及び担任の先生方へ出席いただき、本会役員との昼食会を兼ねた懇親会を開催しました。

臼田会長の挨拶の後、昨年に続き第 9 次南極観測越冬隊員としても活躍された第 34 期の喜納淳氏に講演していただき、プロジェクター映像を交えて南極観測や昭和基地の環境などの講話をしていただきました。また、学校に送っていただいた貴重な南極の氷を見て触れ、雪が空気を含んで出来た氷は白っぽく、氷を水の中に入れて耳を近づけ「パチ、パチ」という気泡が弾ける音を聞いたりして、市販の透明の氷との違いなどを体験させていただきました。講演後、食事をしながら各クラスから 2 名選出された幹事の自己紹介と、18 名の幹事の中から代表幹事 1 名、副代表幹事 4 名が選出されました。各クラスの幹事及び担任の先生は、次表の名簿の通りです。

（総務部）

平成 29 年度（第 93 期）同窓会幹事名簿

（平成 30 年 3 月卒業生のクラス別同窓会幹事）

クラス	担任先生	幹 事	
機械 A	藤田 稔	中久保 知馬	服部 大吾
機械 B	小林 正文	浅居 寛乃	割貝 太一
電気 A	松田 稔	栗屋 太郎	吉澤 紘大
電気 B	永津 圭一	早坂 勇希	◎綿谷 優一
電気 ITA	深川 剛	○笠原 裕希	○中村 綾花
普通 A	原田 忠彦	小野 樹希	細井 亜美
普通 B	田中 秀明	○伊東 健介	○栗田 航暉
普通 C	遊佐 みゆき	渡部 拓海	工藤 香梨
普通 D	寺岡 しのぶ	山口 紘平	内倉 涼佳

- ・学年主任は、小島茂先生です。
- ・◎印は代表幹事、○印は副代表幹事です。

平成 30 年 新年会

平成 30 年 1 月 27 日（土）17 時 30 分より、横浜の崎陽軒本店にて、東京高校同窓会柴田夏男会長、佐藤達也・松浦みき両副会長を来賓に迎え、現・元教職員並びに 26 期（85 歳）の大先輩から 91 期（20 歳）の若い会員まで、半世紀以上の年齢差のある同窓会ならではの多彩な顔ぶれが一堂に集い、総勢 61 名の参加のもと、盛大に開催されました。

臼田会長、上野理事長、知念校長の挨拶、東京高校同窓会柴田会長と、ご多忙の中、急遽ご出席いただいた 72 期生で神奈川県議会議員の川崎修平氏よりご祝辞をいただいた後、小畑副校長の乾杯で開宴となりました。

また、今年も、91 期（平成 28 年卒）陸上部 O B の越川堅太君（神奈川大学 2 年、今年の箱根駅伝往路 3 区選手）、稲毛暉斗君（國學院大学 2 年）の二人が参加されて、近況報告などをしていただきました。普段は、あまり話す機会がない先生方や先輩後輩の垣根を越えて、和気藹々の懇談が続く中、行われたビンゴゲームで盛り上がるなど、大変有意義な楽しい時間を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。（事業部）



祝賀会が開催されました

- 交換留学制度 50 周年記念祝賀会
平成 29 年 7 月 1 日（土）・於：プラザ・アペア
- マーチングバンド部創部 40 周年記念祝賀会
平成 30 年 2 月 18 日（日）・於：フェニックスアリーナ

東実祭

平成29年11月11日(土)～12日(日)の2日間にわたって開催された東実祭に今年も“同窓会の部屋”を設け、歴代の卒業記念アルバムの公開や会員の作品展示などを行いました。また、恒例となった“校章入りドラ焼き”と昨年から始めた“綿菓子”の販売を行いました。販売で得た売上利益金に本会の経費を加算して、生徒会に3万円を寄付させていただきました。(事業部)



拡大幹事会

同総会と学校相互の情報を交換し、協力・連携体制の強化を図ることを目的とて、下記の内容で拡大幹事会及び懇親会を開催しました。(総務部)

- ・日 時：平成29年11月24日(金) 18時00分～
- ・場 所：プラザ・アペア
- ・出席者：20名(うち学校関係者5名)
- ・会 費：3,000円

叙勲受章

私は、昭和16年11月20日生まれ、昭和35年3月、商業科B組を卒業しました。

昭和62年5月15日に保護司を拝命し、現在も継続中です。

平成29年4月29日に叙勲「瑞宝双光章」を受章し、平成29年5月10日に皇居において天皇陛下に拝謁、勲章を賜りました。



荒川 征一(第35期)



..... 表彰関係

- 平成24年 法務大臣賞表彰
- 平成18年 東京都知事賞表彰
- 昭和59年・平成9年 品川区長賞表彰
- 平成19年 品川区功労者表彰

..... 地域の活動

- 昭和56年 城南小学校PTA会長
- 昭和59年 東海中学校PTA会長
- 昭和61年度 品川区立中学校PTA連合会長
- 昭和58年～平成27年まで警視庁生活安全課委嘱、少年補導員及び協働委員を務め、現在は博友町会町会長役を担っています。

兄弟校同窓会合同懇親会

平成29年8月24日(木)18時～、グランドプリンスホテル新高輪「古稀殿」において、兄弟三校(東京高等学校・東北高等学校・東京実業高等学校)同窓会役員による合同懇親会を開催しました。

《出席者》

- 東京高等学校：柴田会長、佐藤副会長、三枝副会長、松浦副会長
- 東北高等学校：五十嵐会長(学園長)、渋谷事務局(教諭・陸上競技部総監督)
- 東京実業高等学校：臼田会長、小畑副会長(副校長)、酒井副会長



兄弟校の紹介

	 上野塾 東京高等学校	 南光学園 東北高等学校
明治	5年(1872) 上野清、上野塾を創設 21年(1888) 東京理数学校に組織改革 23年(1890) 神田に東京数学院を開校 32年(1899) 東京数学院尋常中学を東京中学と改称	27年(1894) 東京数学院宮城分院設立(創立者：上野清、五十嵐豊吉、大松沢実政) その後校名を仙台数学院と改称 33年(1900) 東北中学校設立。初代校長に五十嵐豊吉就任
大正	11年(1922) 神田小川町に東京実業学校創立 13年(1924) 創立者上野清逝去、校葬	
昭和	9年(1934) 現校地大田区鶴の木に移転 29年(1954) 東京高等学校と改称 46年(1971) 創立100周年祭。男女共学制実施	4年(1929) 現校地南光沢に移転 23年(1948) 東北高等学校設立
平成	19年(2007) 校舎リニューアル 28年(2016) 伊藤詔一校長就任	6年(1994) 100周年式典挙行。泉校地に校舎落成 18年(2007) 第11代五十嵐一彌校長就任 29年(2017) 第12代五十嵐征彦校長就任、小松島校地に中央校舎完成

“すばらしい”クラスメート と恩師遠藤幸喜先生



星 勝治 (第 35 期)
(旧姓 本宮)

今から約 60 年前を振り返りますと、素晴らしいクラスメートと遠藤幸喜先生に出会えたことです。

我々 35 期機械科 D 組は、3 年間に在学中 58 名全員が無欠席で卒業したと記憶しています。担任は、日本体育大学卒業 1 年目の新人教諭の遠藤先生でした。そんな先生をクラスの皆は兄貴の感覚で接していました。在学中の思い出では、現皇后の正田美智子様へのロマンス、八田先生(?)が通勤途中の電車内で本人と「2 回ほど乗り合わせした」と自慢されていたこと、蒲田駅前にて学校のお祝いの植樹祭をしたことなどが記憶に残っています。



突然の遠藤先生の訃報には大変驚きましたが、我々のクラス会が長続き (7 回開催) できたのは、遠藤先生が参加してくださったからだと思います。また、途中から級友の勝又君が旅行会社に転職され、企画の取りまとめに努力してくれたことも大きいと感じます。

年齢とともに少しずつ天国に召された仲間もいますが、80 歳の傘寿のお祝を兼ねたクラス会の開催を楽しみにしています。



遠藤先生ご夫妻(クラス会にて)

遠藤先生は東実野球部の発展に長年ご尽力され、東京都高等学校野球連盟の発展にも貢献されました。遠藤先生の指導が引き継がれている東実野球部の活躍を応援しております。



7 回目のクラス会(70 歳・古希の祝い) 於:横浜ナカイ

第 67 期普通科 同窓会開催



平成 29 年 4 月 29 日、蒲田駅東口で 1992 年卒業生 (第 67 期) 10 名が集まり、北井先生、小野先生を囲んだ、同窓会が行われました。ここ数年、毎年 1~2 回行われ、毎回出席する人もいますが、必ず新しい出席者もいます。

会を重ねるごとに、在学中の思わぬ出来事が思い起こされます。授業中の出来事で、「どうして高校生活はこうだったのか?」、「あの先生は、今どうしているのだろうか?」、「あいつの行方がわからず、連絡がつかない!」など自分のこと、友人のことなどで話がはずみ、いかに多感な時期の人生を楽しく、自由気ままに生きたか、懐かしい気持ちでいっぱいになります。

すでに卒業してから 25 年経ちましたが、顔も心もそれほど変わらず、現在を迎えているような気がします。やはり、先生も私たちも元気だから、愉快に過去を語ることができるのではないのでしょうか。東京実業と先生方と自分たちの人生に感謝! 今後も継続して、会を進めていきたいと思えます。(記 山岸)



後列左より…蜂矢・大熊・石井・伊藤・増田
中列左より…小平・小野先生・中川
前列左より…山岸・杉谷・北井先生・金杉

個人情報の取扱い

会員の皆様の個人情報の利用は、以下のときのみで使用しております。

- ① 同窓会名簿の整備
- ② 同窓会報の送付
- ③ 各種行事の開催案内送付
- ④ 総会・本部役員会議等の開催案内送付

同窓会は事務局も含め、全て卒業生のみで運営されており、保有している会員の情報は、本人の同意を得ずに第三者への提供や開示などはいたしません。

(事務局・総務部)

会員通信欄

平成29年定期総会・懇親会(6月3日開催)開催のご案内通知の「返信ハガキの備考欄」の記述文を抜粋しました。

- 宮島昭五郎(第23期) 昨年出席し、楽しく過ごしました。東実祭も今年は足の痛みがひどく残念ですが欠席します。母校と同窓会の繁栄をお祈りします。
- 原川 清(第25期) 学校の近況報告を拝見すると、部活動における部員の活躍と、頑張っている状況がよくわかります。本年度における更なる活躍と期待を強く感じました。応援しています。
- 菅沼 義治(第26期) 誠に残念ですが当日から三日間は大風合戦に招待されていますので、申し訳ございませんが欠席させていただきます。
- 鈴木 正(第34期) 何とか元気に生活しております。本田位公子様、大変長い間ご苦労様でした。
- 浜住芙美枝(第34期) 会報受け取りました。有り難うございます。本田位公子様、長い間の会長さんご苦労様でした。今年は(平成29年)34期卒のクラスメートは「喜寿の祝い」です。マイペースで頑張りたいと思います。
- 岡田 清(第35期) 遠藤幸喜先生が新入教諭として最初に担任となられ、新入生の私らとドキドキの授業、何回ものクラス会や蒲田での飲み会・カラオケが思い出されます。お世話になりました。ご冥福をお祈り申し上げます。
- 宮崎 忍(第35期) 遠藤先生の逝去を知り残念に思いました。3年間担任をしていただき、お世話になりましたこと感謝です。
- 米田 仁昌(第37期) 会長、副会長、事務局、それに顧問他の皆様いつもご苦労さまです。小生どうも体調が…、それに好きなお酒も飲めなくなったし…、だけど皆さんと逢いたいと思っております。盛大に楽しんで下さい。バイバイ!
- 飯塚 守昭(第38期・野球部) 都春季大会準決勝、対帝京戦応援に行きました。とても良いゲームでしたね。夏のシードに頑張ってください。サッカー、駅伝もあと一歩ですね。次回も期待して応援に行きます。
- 鈴木 昭彦(第38期) 会報有り難うございます。在校生の学業、スポーツ、文化活動の報に接し、いつもたのもしく思います。また、同窓会役員の方々へ労いを申し上げます。
- 山田 茂明(第60期) 昨年、人生最後の?転職を致し、日々多忙を極めております為、今年度は欠席とさせていただきます。新年会辺りでお会い出来れば幸せです。

物故者

下記の方々が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご通知申し上げます。

(敬称略)

卒期	氏名	没年	
第15期	齊藤 芳和	平成29年	
第17期	遠藤 武	平成28年	10月
第18期	神保 幸雄	平成29年	
第19期	吉原 和富	平成29年	7月
第21期	中嶋 秀雄	平成28年	6月
第23期	安藤 銀蔵	平成28年	
第38期	安藤 加代子	平成29年	10月
第57期	福島 早苗	平成29年	10月
第64期	谷口 修	平成29年	
第69期	三浦 優士	平成27年	3月

尋ね人

ご存知の方がおられましたら、事務局までご連絡お願い致します。

(敬称略)

尋ねている人	探している人
第36期(S36年卒) 佐藤 美津子	第35期(S35年卒) 野口 昌俊・東川 博

寄付者名簿

平成29年3月1日から平成30年1月31日までの11ヶ月間において、次の方々よりご寄付いただきました。

(敬称略・卒期順)

No.	卒期	氏名	寄付金(円)
1	—	上野 雅子	100,000
2	29	箕輪 弘数	10,000
3	29	伊藤 一嘉	10,000
4	34	本田 位公子	10,000
5	34	加藤 悦子	10,000
6	35	星 勝治	10,000
7	41	真木 豊子	10,000
8	41	小崎 和枝	30,000
9	42	臼田 佳彦	20,000
10	42	瀬川 千尋	50,000
11	45	深堀 精一	5,000
12	59	梅村 孝治	3,000

人数：12名、合計金額：268,000円

貴重なご寄付をお寄せくださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。皆様からいただいた寄付金は、同窓会や母校のために有意義に活用させていただきます。

(現物寄贈)

上記寄付金以外に42期(元教諭)井上昭氏が「郵便はがき100枚」を寄贈してくださいました。ありがとうございます。

会長 臼田 佳彦

東京実業高校同窓会会員総数

第92期(平成29年3月)卒業生まで

()内の数字は女子会員

会員数	総数	商業系			工業系		普通系	
		機械科	電気科	電気	IT	ビジネス	文理	
	36,222	14,265	17,077	4,880				
	(3,492)	(2,612)	(9)	(871)				
昼間部(同窓会)	31,996	11,910	15,206	4,880				
(大15~平29)92期	(3,260)	(2,382)	(7)	(871)				
夜間部(蛍窓会)	3,586	2,223	1,363					
(昭4~昭52)49回	(228)	(228)	(0)					
専門学校(五葉会)	640	132	508					
(昭35~昭48)14回	(4)	(2)	(2)					

第92期 卒業生数	商業系	工業系				普通系	
		機械科	電気科	電気	IT	ビジネス	文理
合計	368	0	122	61	28	116	41
男子	341	0	122	61	27	93	38
女子	27	0	0	0	1	23	3

電気通信工事関連事業
(平成26年度川崎市優良業者表彰受賞)

アイ通信工事株式会社

〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町17-55
TEL:044(798)3201 FAX:044(798)3203
E-mail : aitsusin@athena.ocn.ne.jp
第41期 取締役会長 市川 達雄

スポーツのことなら!

しろがね
白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー
〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7
TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845
第37期 白銀 正明

UNO CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3891-6735
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-45-3
ハイウエストビル6階

不動産の総合コンサルタント

分譲住宅 設計・施工・販売

神奈川県宅地建物取引業協会会員



株式会社セガ・コーポレーション

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町8番12号
TEL:045(582)8000 FAX:045(582)8866
第42期 代表取締役 瀬川 千尋



東京都大田区南馬込5-22-10
TEL (03) 3771-7100 営業時間 17:00~23:00
携帯 (080) 5375-8552 月曜定休 (祝日の場合営業)

一企画・デザイン・印刷全般一

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14
TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448
E-mail : total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造

ITソリューションサービス



株式会社 **KHJサービス**

<http://www.khjs.co.jp/>

〒231-0023 横浜市中区山下町224番地1
山下町Kビル7階
TEL:045(226)3006 FAX:045(226)3007
第42期 相談役 白田 佳彦

■ビル・メンテナンスサービス■

東南総業株式会社

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦5-8-8
TEL:045(501)8996 FAX:045(504)4588
Email : kato-afq@mercury.dti.ne.jp
第41期 代表取締役 加藤 憲治

美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095
東京都大田区多摩川1丁目18番5号
TEL.03-3758-0710
FAX.03-3758-2821
第56期 佐々木 健

パソコン・一般家電 修理・販売
お気軽にご相談下さい



有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16
(御嶽山商店街内)
電話: 03(3728)1446
E-mail: NQF15990@nifty.com
第70期 代表取締役 深谷和弘

事務局だより

☑ 主な同窓会行事と参加のお願い

●新年会	1月(最終土曜日)
●定期総会	6月(第1土曜日)
●懇親旅行	9月下旬～10月中旬
●東実祭	11月(中旬の土・日曜日)

同窓会の行事は、毎年上記の時期に開催予定となっております。詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧いただくか事務局にお問い合わせください。なお、申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員（東京実業高等学校の同窓生・元教職員）の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡いただき、お誘い合わせで是非ご参加ください。（事務局）

☑ 卒業記念アルバム貸与・贈呈のお願い

同窓会では、歴代の卒業記念アルバムを所蔵し、東実祭開催の際に展示して来場者に公開しております。

所蔵アルバムは、度々の保管場所（部屋）の変更などにより残念ながら、欠損年度（下記の表参照）があり全ての卒業年度が揃っておらず、いろいろな機会を通して会員の皆様にお願ひし、収集して参りました。しかしながら、個人的にも大切な思い出の品であり揃えることが出来ません。皆様方の中に貸与または贈呈して下さる方がおられましたら、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、貸与の場合はコピー後、速やかにお返しいたします。（総務部）

欠損年度（卒期）	
2014年3月卒業(89期)	1986年3月卒業(61期)
1993年3月卒業(68期)	1981年3月卒業(56期)
1987年3月卒業(62期)	1978年3月卒業(53期)

☑ 同窓会名の電話に“ご注意”

近年、同窓会を騙った名簿業者から、名簿発行に伴う情報提供の依頼や購入案内が会員に届くなど、同窓会名簿を悪用した詐欺も多くなっておりますので、“ご注意”してください。同窓会では、電話による寄付の要請や個人情報に関する問い合わせは一切行っていません。家族の方にも周知されて直ぐに対応しないようにしてください。また、同窓会名でこのような電話がありましたら、必ず事務局または学校にご連絡し、ご確認ください。（事務局）

☑ ホームページにバナー広告を掲載しませんか！

同窓会ホームページにバナー広告の掲載を希望される広告主様を募集しております。掲載料金は1年間20,000円（消費税込み）です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」または事務局に直接電話でお申し込みください。（広報部）

☑ 常任幹事を募集しています

皆さんの中で、同窓会のお手伝いをして下さる方が居りましたら、是非ご協力ください。常任幹事の主な仕事は、2ヶ月に1回くらい平日の夜に開催される会議に出席していただき、同窓会行事等の打合せを行ったり、諸行事へ積極的に参加していただくことなどです。同窓会の輪を広げる為にも皆様のご協力お願いいたします。ご協力いただける方は、事務局へ電話・メール等でご一報ください。（事務局）

編集後記

本会報も、皆様方のご協力により29号を発行することが出来ました。ご寄稿、広告にご協力いただきました皆様方には、深く感謝申し上げます。

本号10ページの「同窓会の歩み」に記載の通り、平成2年6月に創刊号を発行して以来、途中発行月の変更がありましたが、一度も休刊せず毎年1回発行してまいりましたので、今年で29年目になります。

この間、14号（平成15年3月発行）からB5版サイズをA4版サイズに変え、文字も大きくしました。また、20号（平成21年3月発行）からカラー印刷に変えて母校の現況や同窓会の活動、会員からの寄稿文などを掲載し、母校と同窓会の情報発信誌として、会員や関係者の皆様方にご愛読いただいております。

今後も、より充実した内容で皆様のご要望とご期待にお応えしてまいりますので、引き続きご指導とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

（広報部員一同）

 東実同窓会報 No.29 広報部		
責任者	川邊 國造 (副会長)	
部員	箕輪 弘数 (常任幹事) 名取 正人 (常任幹事) 戸田 三光 (常任幹事) 高山 俊一 (常任幹事) 神野 行雄 (常任幹事)	
発行日	平成30年3月1日	
編集	東実同窓会報 広報部	
発行	東京実業高校同窓会	
事務局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL: 03-3732-4481 FAX: 03-3732-4456	
	} 学校	
事務局	[ホームページ] URL: http://www.tojitsu-dosokai.com/ Mail: info@tojitsu-dosokai.com m-phone: 080-1186-8945 e-Mail: tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp	
	発行人	臼田 佳彦 (会長)
	編集人	川邊 國造 (副会長)
	協力	小畑 雅一 (副校長) 本田位公子 (顧問) 小野 博司 (教諭) 米倉 美鈴 (事務局)
制作	トータルブラン株式会社	